令和8年10月30日

松本市立小・中学校等外国語指導助手派遣業務プロポーザルに関する質問書への回答

No.	質問項目	回答
1	教育支援センター及び市立特別支援学校等におけるALT配置の年間勤務日数及び派遣実績について	・教育支援センター 現時点で、これまでにALTを派遣した実績は無く、令和9年度以降の年間勤務日数は未定です。 ・特別支援学校 学校設立後の状況等により、契約事業者と協議の上決定する方針ですが、おおむね年6日間程度を想定しています。
2	プレゼンテーション審査の実施時間等について	参加事業者を5者とした場合、令和8年11月18日(水)の午前に3者、午後に2者の審査を実施する予定です。 各プレゼンテーションの実施時間(実施順序)については、提案書(様式第4号)の受付順により決定します。
3	審査員の構成(所属部署及び人数)等について	選考委員の人数は7名です。 その他は回答することはできません。
4	現在の契約事業者及び令和6～8年度の契約金額について	・契約事業者 株式会社ハートコーポレイション ・契約金額は回答することはできません、なお、市の各年度予算は、税込みで下記の金額としています。 令和6年度　76,040千円 令和7年度　76,040千円 令和8年度　76,040千円
5	令和8年度に配置されているALTの出身国、内訳人数及び在籍期間について	・小学校10名 フィリピン7名、アメリカ2名、ガーナ1名 ・中学校及び小中併設校8名 フィリピン3名、アメリカ2名、ガーナ1名、南アフリカ1名、オーストラリア1名 ・在籍期間については、平均して1年～3年程度です。
6	令和8年度の配置の組み合わせについて	回答することはできません。
7	令和6～8年度における配置開始時期の遅延有無及び年度途中のALTの退職や交代について	令和6～8年度において、ALTの配置開始時期の遅延はありませんでした。契約期間中の交代については、令和6年度で2件、令和7年度で1件、令和8年度で6件あり、ALT自身の家庭や体調面の事情により交代が必要となったものです。
8	自動車通勤・移動を行っているALTの人数について	現時点で、8名が自動車通勤・移動を行っています。
9	令和9年度の実際の派遣開始日、派遣終了日について	・令和9年度は未定です。 ・令和8年度は、4月7日入学式、4月9日頃から通常授業が行われています。卒業式は、小学校3月16日、中学校3月17日で、3月12日頃まで通常授業が行われています。年間の配置日数は210日程度です。
10	令和8年度におけるALT1名あたりの年間配置日数及び年間の総勤務時間数について	・令和8年度は、小学校・中学校いずれも、平均して198日程度、一人当たり約1,435時間程度の配置を予定しています。
11	令和8年度におけるALT全体の配置体制(派遣人数)ならびに、全体の年間延べ配置日数及び総勤務時間数について	ALT全体の配置体制(派遣人数)は18名です。 令和8年度は、ALT全体の年間延べ配置日数及び総勤務時間数(8月含む)は、3,564日、約25,830時間程度の配置を予定しています。
12	令和9年度の8月中に想定される勤務日数、勤務時間数、業務内容等について	・各学校の年度スケジュールや要望有無により異なり、事業者との事前調整の上で実施しています。 ・学校の休校日以外は勤務日としています。夏休み期間は各学校により異なりますが、令和8年度の各小中学校の夏休みの状況は以下のとおりです。 最も早く夏休みが始まる学校の例：7月23日～8月17日 最も遅く夏休みが始まる学校の例：7月25日～8月19日
13	現在、小学校における外国語授業にて使用している指導案(レッスンプラン)について	担当教員が指導計画を作成しています。
14	対面授業と1人1台端末を活用したオンラインALT接続を組み合わせた「オンラインブレンディッド」の実施について	現時点で、実施していません。
15	「教職員に対する英語研修及び研究会、会議等の協力」における令和9年度の実施予定及び令和8年度の実績について	・教職員に対する英語研修や会議への協力は、各学校の要望に基づき実施するものであり、令和9年度の実施は未定です。 ・令和8年度は、現時点で実施していません。
16	教育委員会または学校が指定する、ALTに対する研修やミーティングについて	教育委員会や学校指定による研修及びミーティングの実施予定はありません。
17	「国際交流事業における指導及び指導補助」における令和9年度実施予定及び令和8年度実績について	・国際交流事業における指導及び指導補助は、各学校の要望に基づき実施するものであり、令和9年度の実施は未定です。 ・令和8年度は、現時点で実施していません。
18	業務実績表(様式第3号)への記載について、グループ会社の実績の記載の要否	参加事業者(グループ会社除く)の実績のみを記載してください。
19	実施要領10(1)「会社概要・理念及び業務実績」について、グループ会社の実績を含むことの要否	参加事業者(グループ会社除く)の実績のみを記載してください。
20	令和8年度における小学校・中学校等の推定クラス数や推定訪問時間について	別表のとおりです。
21	現役注者による授業参観の実施頻度や関係者へのヒアリング及びアンケートの実施状況について	・令和６年度から令和８年度において、指導力向上等を目的に定期的に実施いただいています。 ・頻度や方法の取り決めはありません。事業者に必要に応じて実施していただきます。
22	仕様書では勤務時間が午前8時から午後5時までとされているが、この時間帯の中で、休憩時間を除く実働7時間15分の勤務を確保すればよいという理解でよいか。	お見込みのとおりです。
23	①令和6～8年度までの各年度における、現役注者のALTに対する研修実施頻度又は年間の研修実施回数について ②現在のALT派遣に関する課題、現在配置のALT人材に関する課題について	① 対面またはオンラインによるミーティング及び研修を毎月実施しているほか、配置前研修、長期休暇研修、OJT、日本語研修を別途実施しています。 ② ALTの活用方法や授業への参画の仕方は、各担当教員の裁量に委ねられています。市内のすべての学校でALTの効果的な活用事例やノウハウを共有し、質の高い授業を安定的に提供できるよう、事業者と共に取り組みたいと考えています。
24	英語専科教員の配置状況について	令和８年度の小学校での専科教員配置は以下のとおりです。 ・人数　５名（一人当たり２校又は３校兼務） ・配置校　１３校（源池小学校、筑摩小学校、鎌田小学校、並柳小学校、開明小学校、島立小学校、岡田小学校、芳川小学校、菅野小学校、本郷小学校、二子小学校、四賀小学校、梓川小学校）
25	松本市外国語・英語教育に関するグランドデザインなど、小学校・中学校それぞれの外国語・英語教育の到達目標指針について	松本市独自で作成しているものはありません。教科書に準拠したねらいと目標で指導を行っています。
26	①松本市の児童・生徒の学校におけるAI活用指針について ②ICT等の活用に関して、現在小学校・中学校が抱えている課題について	①　児童・生徒の学校におけるAI活用は、以下のとおりAIの種類によって制限を設けています。 ・生成AI 年齢制限の無いGoogle Gemini(教育版)等については、学校単位での検討や保護者同意を取った上で、合意形成が済んだことを踏まえ、システム管理者(学校教育課)で機能開放をしています。その他の生成AIについては、上記同様にAIアプリの学校単位での検討や保護者同意を取った上、学校判断で利用をしています。 ・上記以外のAI 教育委員会が基本アプリとして一括して調達を行い学校へ利用環境を提供しており、かつAIが実装されているもの(児童生徒毎の習熟進度に応じて、提示する問題を可変させる機能を持つ学校学習ドリル教材アプリ等)は、AI機能の確認を踏まえ、制限無く利用可能としているものもあります。 ②　現在、各学校におけるICT活用を補助するICT支援員を配置していますが、英語が堪能ではない支援員もいます。そのため、英語に関するICT活用(ALTへの貸与端末の不具合等を含む。)について支援・補助が必要な際には、事業者(コーディネーター役)が橋渡し役として、ALTと学校の教職員(及びICT支援員)と密に連絡・調整を行っていただくことが必要です。 　また、学校のICT利用環境に関して、ALTに貸与可能な端末はChromebook、授業支援アプリは「Google Workspace」や「ロイロノート」等を用いています。ICT等の活用内容によっては、デジタルでの教材提供の可否や有無、本市のICT環境をALTがどの程度使用されるのかなど、事業者との事前の協議が必要と考えています。
27	教育委員会が考える課題や今後注力したい業務や課題に対する事業者への期待について	・文部科学省が公表している「令和8年度全国学力・学習状況調査」において、県内中学生の英語の平均点は全国平均点を下回っています。特に中学生は「英語で話す力」の向上が課題と考えており、英語による実践的なコミュニケーションの経験が多く得られるよう、ALTの活躍に期待しています。 ・小学校においては、言語や文化の体験や「聞く」、「話す」などの表現を通じて、英語によるコミュニケーション能力の向上が課題です。 ・小学校、中学校に共通して、英語及び外国語活動の授業以外での英語によるコミュニケーション機会の創出について、学校や事業者と共に取り組みたいと考えています。
28	学校側が感じている英語教育への課題やALTに求めるもの、事業者への期待について	担当教諭と連携して、児童の学習段階や既習・未習事項等を意識した上で、充実した言語活動を重視する授業展開の工夫ができるよう、ALTの活躍に期待しています。 併せて、事業者には、ALT が学校文化や子どもたちと円滑に関わり、職務に専念できるよう、生活面・心理面等に対する十分なサポートや適切な勤務評価・勤怠管理が行われることを期待しています。
29	児童・生徒へ配布しているタブレッドの機種について	ASUS Chromebook Flip CZ1(CZ1104FM2A-NS0047)です。また、ALT貸与端末も同一機種です。
30	担当教諭と協働した探求的な学びに向けたICT等の活用による授業について、現状の松本市の小中学校の取組み	プレゼンテーションの準備や発表本番において、児童生徒が一人一台端末を活用している事例があります。
31	小学校1・2年生及び特別支援学級のおける授業等の実施状況	学校からの要望により、一部の学校において、小学校1・2年生の授業参加については年3回程度、特別支援学級の授業参加については週1～2回程度実施しています。
32	授業以外のALTの活用において、現状の松本市の小中学校、教育支援センターでの取組みや業者への期待について	現在は、学校からの要望に応じて、学校行事への参加、英作文や英語スピーチの指導、テスト採点などに取り組んでいただいています。今後も、授業に限らず児童・生徒の探求的学びの機会や、各校が取り組む英語教育の質向上に対して、積極的に関わっていただけることを期待しています。